

カテゴリ	説明	対処内容
Excelノード	Excel関連のノードとライブラリでは、Excelの起動と起動済みのExcelの再利用に関するロジックが異なり、エラーの原因となるので、改善頂きたい。	ExcelノードとExcelライブラリは内部の動作が異なります（一般にExcelノードの方が高速です）。そのため、動作の違いがあるのですが、Ver.7.1.0では、Excelノードの動作を改良し、シナリオ上はExcelライブラリと同じ動作を行うようにしました。
Excelライブラリ	V5.1.3, V5.2.0のライブラリ「csvファイル→変数値」をv7で実行するとcsvの値が変数に設定されない（V5.3.1以降のライブラリは正常に動作する）。	V5.1.3, V5.2.0のライブラリ使用時でも正常動作する様にします。
Excelライブラリ	Excel操作(フィルタ設定) Excel操作(フィルタ条件設定) Excel操作(フィルタ複数条件設定)において、1行目以外をヘッダセルとして扱う場合は、単一セルではなく複数セルを指定しなければならないのだが、マニュアルに明記されていない。	これらのExcel操作ライブラリにおいて、1行目以外をヘッダセルとする場合は、複数セルを指定しなければならない事を注釈に明記しました。
GUI全般	WinActorのウィンドウを、右上の「最大化ボタン」をクリックして最大化した場合、「最大化ボタン」は「元に戻す」ボタンに切り替わります。しかし、Windows10のスナップ機能で最大化するとボタンが切り替わらず、「最大化ボタン」のままです。（ボタンの機能は切り替わっています）。	Windows10のスナップ機能でウィンドウを最大化した場合もボタンが切り替わる様にしました。
GUI全般	ノードを選択して、「DEL」キーを押下した場合と、「削除」ボタンをクリックした場合とで、続いて表示されるノード削除の警告ウィンドウのボタンのフォーカス状態が異なる。	ノード選択して、「DEL」キーを押下した場合と、「削除」ボタンをクリックした場合とで、続いて表示されるダイアログのボタンのフォーカス状態を揃えました。
GUI全般	ノードを複数選択した状態で、ノードのどれかをダブルクリックすると、最後に選択したノードのプロパティ画面が開いてしまう。	ノードを複数選択した状態で、ノードをダブルクリックした場合は、複数選択状態を解除して、ダブルクリックされたノードのプロパティ画面を開く様にしました。
GUI全般	プルダウンメニューを矢印キー「↑」、「↓」で操作した場合、点線枠のみが移動する。他の処理同様、選択された項目の背景がグレーにならない。	プルダウンメニューを矢印キー「↑」、「↓」で操作した場合も選択された項目の背景がグレーになる様にしました。

GUI全般	ライセンス再登録後にWinActorを再起動すると、ライセンス期限を示すウィンドウが表示されるが、他のウィンドウに隠れてしまっていることができない。	ライセンス期限を示すウィンドウが前面に出るようになりました。
HTTPライブラリ	HTTPライブラリでDELTEメソッドに対応していない。	HTTPライブラリでDELTEメソッドに対応しました。
WinActor終了	WinActorを終了させようと、画面右上のXにカーソルを合わせたが「閉じる」ツールチップが表示されない。また、クリックしても終了確認の画面が表示されず、すぐに終了してしまう。	画面右上のXにカーソルを合わせた際に「閉じる」ツールチップが表示する様にします。また、クリックした際には終了確認の画面が表示される様にしました。
ウィンドウ識別ルール	ウィンドウ識別ルール画面のツリーエリアにおいて、ShiftキーでノードIDと名前を複数選択することが出来ない。	複数選択を可能にしました。
ウィンドウ識別ルール	「ウィンドウ識別ルール」画面にて、ウィンドウ識別名を選択した状態で、「文字列」「記録時情報」の幅を増やそうとしても、一定以上幅が広がらない。	「ウィンドウ識別ルール」画面の「文字列」「記録時情報」の各入力欄について、グリッドのサイズに連動して入力欄が広がるよう修正しました。
音声処理	音ノードを含むグループをユーザライブラリに追加した後、登録したユーザライブラリをフローチャートにドロップすると、エラーが発生する。	音ノードのライブラリへの登録に問題がありましたが修正しました。
音声処理	音ノードを含む含むシナリオで、音ノードのプロパティ画面で「ブザー」から「WAVファイル」に変更するとシナリオファイルの保存に失敗する。	WAVファイルのシナリオ保存に問題がありましたが修正します。
画像・輪郭・OCRマッチング	Ver.6の画像・輪郭マッチングを使用しているシナリオで、ベース画像が無くターゲット画像が有るものは、Ver.7ではエラーになる。	ベース画像が無くターゲット画像が有る場合、ターゲット画像でベース画像を補完する様にしました。これにより、この様なシナリオを読み込んだ場合にもエラーにはなりません。
画像・輪郭マッチング	画像マッチングノードのプロパティ画面【イメージ】タブで【全画像削除】を実施した後に、再度プロパティ画面を開くと検索範囲(緑枠)が元の位置に残存している。	【全画像削除】を実施した後には、検索範囲が表示されない様にしました。
画像・輪郭マッチング	画像マッチングノードのプロパティを設定した後、ノードがなくなるまでUndoした後に、履歴がなくなまでRedoを実施すると「不測のエラーにより継続できません」のエラーダイアログが出力される。	画像マッチングノードのプロパティを設定した後も、Undo/Redoが正常に動作する様にしました。

画像・輪郭マッチング	Surfaceなどの高DPIスクリーンで表示倍率変更(DPIスケーリング)が行われていると画像マッチングが失敗する。	高DPIスクリーンで表示倍率変更(DPIスケーリング)が行われている場合でも画像マッチングが成功する様にしました。
画像マッチング	画像マッチングノードのプロパティ画面で「更新」ボタンを押すと、画像マッチングノード以外のノードのプロパティ画面サイズが変化してしまう。	画像マッチングノードのプロパティ画面のサイズ変更が、画像マッチングノード以外のノードのプロパティ画面のサイズに影響を与えないようにしました。
画像マッチング	画像マッチングノードのプロパティ画面を「X」ボタンで閉じると、次の画像マッチングノードのプロパティ画面に画面サイズが引き継がれる。	画像マッチングノードのプロパティ画面のサイズを変更しても、次の画像マッチングノードのプロパティ画面のサイズに影響を与えないようにしました。
管理機能	有効期限の切れたシナリオを管理サーバから実行させると、期限切れを示すダイアログが表示され、OKボタンで閉じるとそのままの状態となってしまう。 管理サーバからタスクの中断やWinActorのクリーンを指示してもタスク処理中のままで状態変わらず、WinActor停止・再起動を指示すると状態が復旧する。	管理サーバからの指示でシナリオ実行する際、シナリオの有効期限がNGとなった際にシナリオ実行失敗を管理サーバに通知する処理を追加し、実行中状態が解除される様にしました。
管理実行モード	管理実行モードのシナリオ実行時ログファイルに作業ディレクトリのフルパス情報が出力されている。	管理実行モードの場合に、シナリオ読み込み/クローズのログメッセージにフルパスを出力しないように改修しました。
起動	WinActor の起動中、「ウィンドウレイアウトの更新に失敗しました。」エラーが表示され起動が失敗する。	WinActor のウィンドウのレイアウト情報が何らかの原因で破損したのが原因です。このような場合にレイアウト情報をクリアし、WinActor の起動が可能になる様にしました。
クリップボードノード	クリップボードを利用すると、「不測のエラーにより継続ができません。」とメッセージが出てストップしてしまう。	Windowsの内部処理等でクリップボード処理が失敗した場合にリトライ処理を行い、処理の安定性を向上させました。
自動記録	イベントモードの自動記録で、Ver.6.3 では、WIN32系のライブラリのinstance値に0(ウィンドウ自身)が指定可能であるが、Ver.7.0.2 では 0 を指定できない。そのため互換性の問題が発生している。	イベントモードの自動記録で、WIN32系のライブラリのinstance値に0(ウィンドウ自身)を指定可能としました。

自動記録	「記録操作画面」の「操作の削除」ボタンは、「選択部削除」と名称を変えた方がわかりやすい。	「記録操作画面」の「操作の削除」ボタンは、「選択部削除」に名称変更します。 詳細は、WinActor 操作マニュアル (WinActor_Operation_Manual) 「3.16 記録操作画面 表3-103 操作記録の要素」を参照ください。
シナリオGoTo	データー一覧でExcelを使用していた場合に、Excel を閉じてからシナリオGotoすると、V6と異なりExcel書き込みに失敗してシナリオ実行が中断してしまう場合がある。	書き込みに失敗した場合でもログを出力した上で、シナリオ動作が継続する様にしました。
シナリオ間コピー	シナリオ間でノードをコピーする際に、パーツ毎に確認画面がでて煩雑である。	コピー対象全体で、まとめて確認画面を出す様に変更しました。
シナリオ実行	グループ、サブルーチンを多用しているシナリオの実行速度がV6より遅い場合がある。	V6と同等以上の速度で実行可能にしました。
シナリオファイル	シナリオをファイルサーバに置く場合、「フルコントロール」と「変更権限」がない場合に、上書き保存ができなくなる場合があります。	V6と同等の権限があれば上書き保存できるようになりました。
シナリオファイル	シナリオ情報で指定した日付形式がシナリオファイルに保存されない。	シナリオ情報で指定した日付形式がシナリオファイルに保存される様にしました。
シナリオファイル	v5でシナリオファイルにパスワードを設定していた場合、正しいパスワードを入力してもv7でシナリオを開けない。	v5でシナリオファイルにパスワードを設定していた場合も、正しいパスワードを入力すればv7でシナリオを開けるようにしました。
全般	シナリオ実行終了後にWinActorのメインウィンドウが前面に表示されない場合がある。そのため、ブラウザ等の画面に文字等を入力する処理が期待通りの動作とならない場合がある。	V6と同じく、シナリオ実行終了後にWinActorへフォーカスを戻すようにしました。
データー一覧	データー一覧にインポートするデータに全角と半角の括弧が混在していると不測のエラーが発生する場合がある。	全角と半角の括弧が混在していてもエラーにならない様にしました。
データー一覧	改行コードをデータとして含む("" で囲まれた改行がある) CSVデータをインポートするとエラーになる。	改行コードをデータとして含むCSVデータをインポートしてもエラーにならないようにしました。但し、連続する改行コードは1つの改行コードに集約されます。

特殊変数	特殊変数へ不正な値を設定してもエラーが発生しない。例えば、\$SLOWEXECUTION-VALUE に設定できる値は0-10であるが、範囲外の値を設定するとV6ではエラーとなるが、V7ではエラーとならず値も設定されない。	V7でも範囲外の値が設定された際はエラーとする様にしました。
特殊変数	特殊変数 \$THROW_USER_EXCEPTION について、スクリプト実行ノードで値を設定した場合は例外がスローされるが、変数値設定ノードで値を設定した場合は例外がスローされない。	変数値設定ノードで値を設定した場合でも例外がスローされる様にしました。
特殊変数	特殊変数 \$SLOWEXECUTION-VALUE について、変数設定ノードから値を設定すると、V6では実行ボタン横の実行速度が設定された値に変化するが、V7では変化しない。	実行速度が設定された値に変化する様にしました。
残り予想時間	V7では、シナリオのノード実行毎に「残り予想時間」を更新しているが、予想時間が増加する等の直観に反する動作となる場合がある。	アルゴリズムを改良して残り予想時間の精度を向上させました。但し、繰り返し処理において、一周毎に処理時間が増える様なシナリオでは、引き続き残り予想時間が増加する場合があります。
ファイルサイズ	画像マッチングのノード、イメージを削除して保存したり、シナリオインポートで新規ファイルへ処理を移しても、シナリオの実ファイルサイズが変わらないため、修正の度にファイルサイズが肥大化してしまう。イメージ画面にて、「未使用イメージ名削除」ボタンをクリックしてもサイズが変化しない場合がある。	「未使用イメージ名削除」が有効に動作するようになりました。
フローチャート画面	ユーザライブラリ格納フォルダにファイルを配置すると、ums*ファイルでなくても、「ライブラリ」タブに表示されてしまうので、表示されない様にして頂きたい。	シナリオファイル以外は「ライブラリ」タブに表示されないようにしました。
フローチャート画面	フローチャート描画範囲内に配置したノードを、描画範囲外に移動した後に Undoを実行すると、ノードが元の場所に戻らない。	元の場所に戻る様にしました。

フロー チャート 画面	フローチャート画面の空白エリアをダブルクリックすると、タブ名変更モードになってしまう。	タブのヘッダ部をダブルクリックした場合のみ、タブ名変更モードになる様にしました。
フロー チャート 画面	ウィンドウ状態待機ノード等の画面キャプチャのあるノードを操作した場合、イメージタブのイメージ一覧に反映されない。	画面キャプチャのあるノードを操作した場合でもイメージタブのイメージ一覧に反映される様にしました。
フロー チャート 画面	シナリオ内に複数のタブを作成し、いったんシナリオを保存して再度開いた場合に、保存前のタブの順序と異なってしまう。	シナリオを保存する際に、タブの順序も保存する様にしました。
フロー チャート 画面	フローチャート画面において、ノードを複数選択してダブルクリックすると、最後に選択したノードのプロパティ画面が開いてしまう。	ダブルクリックしたタイミングで複数選択を解除して、ダブルクリックしたノードのみが選択される様にしました。
プロパ ティ画面	スクリプト実行ノードのプロパティ画面【スクリプト】タブで改行の入力を続けて行くと、画面レイアウトが崩れてしまう。	スクロールを追加してレイアウトが崩れないようにしました。
プロパ ティ画面	エンターキーでプロパティ画面を更新できない。	エンターキーを用いた更新を可能にしました。
プロパ ティ画面	ノードを追加した後でプロパティ画面を開いた後、右上の「×」でプロパティを閉じる。その後変数一覧画面を変更すると、閉じた筈のプロパティ画面が意図せず開いてしまう。	右上の「×」でプロパティを閉じた後、プロパティ画面が意図せず開かない様にしました。
プロパ ティ画面	「画像マッチング」「輪郭マッチング」「OCRマッチング」ノードにおいて、タイムアウト等のプロパティに全角数字を入力すると「Unknown Hard Error」のポップアップが表示されて、強制終了となってしまう。	プロパティ画面で全角数字を入力しても正しく解釈される様にしました。
プロパ ティ画面	プロパティ画面のフローティング表示時に、設定項目をプルダウンさせて任意のキーを押すと、フォーカスが外れてプルダウンが閉じてしまう。	プルダウン表示時でもショートカットが使用できる様にしました。

プロパティ画面	<p>プロパティ画面のファイルダイアログにおいて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・存在しないファイルの指定ができない ・存在しないフォルダの指定ができない ・拡張子が自動付与できない <p>ものが存在している。</p>	<p>ファイル指定のためのファイルダイアログは以下の通りとしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・存在しないファイルの指定ができる。 ・存在しないフォルダの指定ができる。 ・拡張子の自動付与を行う。 <p>ファイル保存のためのファイルダイアログも同様ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・存在しないフォルダの指定はできない。 <p>としました。</p>
変数	<p>文字数制限するシナリオに文字数制限なしのシナリオをインポートする際には、文字数のチェックが実施されるが、ノードをコピーする場合には、文字数のチェックが実施されていない。</p>	<p>文字制限するシナリオに文字制限なしのシナリオからノードをコピーする際も文字列のチェックを行うようにしました。</p>
変数一覧	<p>変数一覧画面において、項目名(変数名、初期値、現在値、コメントなど)の並べ替えが可能になっているが、仕様外動作であり期待通りには動作しない。</p>	<p>変数一覧画面では、項目名の並べ替えはできない様にしました。</p>
変数	<p>特定の操作を行うと、マスクをかけた変数の初期値が表示されてしまう。</p>	<p>マスクをかけた変数の初期値が表示されない様にしました。</p>
マニュアル	<p>Windows10で複数ユーザが使用する場合は、管理者ユーザー用インストーラーを使う必要がある旨を、マニュアルに明記すべきである。</p>	<p>WinActor_インストールマニュアル (WinActor_Installation_Manua) に、 『1台のWindows10 PCにおいて、複数のユーザーがWinActorを使用する場合は、管理者ユーザー用インストーラーで WinActorをインストールしてください。』と記述しました。</p>
マニュアル	<p>スクリプト実行ノードのプロパティ、スクリプトにvbsファイルをドラッグ&ドロップすると文字コードの指定に関するポップアップ画面が出力されるが、これについてマニュアルに記載が無い。</p>	<p>WinActor操作マニュアル (WinActor_Operation_Manual) 「4.4.8スクリプト実行 ■スクリプト実行のプロパティ」の「表4-47スクリプト実行のプロパティ（スクリプト）」にて、文字コードの選択が必要な旨記述しました。</p>
マニュアル	<p>シナリオ情報の「ノード数」は、付箋やグループも含めた数になっているが、その旨マニュアルに明記して頂きたい。</p>	<p>WinActor操作マニュアル (WinActor_Operation_Manual) 「3.8シナリオ情報画面 3.8.1基本設定タブ」の「表3-38シナリオ情報の基本設定タブ」に、『ノード数には、付箋の数やグループの数も含まれます。』と追記しました。</p>

マニュアル	アップデートの手順がインストールと同じになったのであれば、同じ手順であるとインストールマニュアルに明記して頂きたい。	WinActor_インストールマニュアル (WinActor_Installation_Manual)「1.1 管理者 ユーザー用インストーラー」「1.2 標準ユーザー 用インストーラー」に、インストールとアップ デートが同じ作業である旨明記しました。
文字コード	ユーザライブラリ「13_02_ファイルエンコー ディング指定」では、ユーザが「エンコー ディング文字列」を設定できるが、 Ver.6/Ver.7 で文字コード体系が異なるため、 Ver.6 のライブラリを読み込んで Ver.6 のエン コーディング文字列を指定すると、エンコー ディング文字列を参照する Ver.7 のライブラ リがエラーになる。	Java と C# の文字コード体系の差異に起因する問 題です。主要な文字コードに関しては互換性が取 れる様に変更しました。詳細は WinActor ユーザ ライブラリサンプル説明書 (WinActor_User_Library_Sample_Manual) 「13.2.11.5 ファイルエンコーディング指定」を 参照ください。
文字列送信	文字列送信ノードの詳細設定で、Instance の チェックをOff、Position のチェックをOnに すると、シナリオ実行が失敗する。	正常に動作する様にしました。
ライセン ス	WinActorにライセンス登録後、NL版では自 動で再起動を行うが、FL版では手動での再起 動が要求される。	ライセンス登録後、FL版においても自動で再起 動する様にしました。
ライセン ス	開始日前や終了日後である場合にも「製品ラ イセンスの期限が切れました。新しいライセ ンスを登録してください。」と表示される。	ライセンス登録時に期間外となった場合に、v6.3 同様に開始日前や終了日後の状況に合わせたメッ セージとなるように処理を修正しました。
ライブラ リ	ライブラリ「マウス中クリック」でトリプル クリックを発生させてもアプリケーションが 認識しない場合がある。	ライブラリ「マウス(左/中/右)クリックの設定項 目に、「クリック間隔(ms)」を追加しました。こ れによりタイミングの調整が可能になります。 詳細は、WinActor ユーザライブラリサンプル説 明書 (WinActor_User_Library_Sample_Manual) 「12 マウス関連」を参照ください。

ライブラリ	Office365のOutlookで、Outlookメーラ起動が失敗する場合がある。	<p>「Outlookメーラ起動」の起動失敗に関しては、複数の要因が存在すると考えられ、確実な解決手段を提供できておりません。これは、Ver.7.1.0でも同様です。Ver.7.1.0では、「Outlookメーラ起動」のプロパティに「待機時間」を追加しました。起動が失敗する場合は、こちらの値で調整してください。「待機時間」の調整で状況が改善しない場合は、新たに用意した「Outlookメーラ起動2」をお使いください。これは、ウィンドウのフォーカス切り替えの方式自体を変更したもので、改善が期待できる場合があります。</p> <p>WinActor ユーザライブラリサンプル説明書 (WinActor_User_Library_Sample_Manual)</p> <p>「20.1 Outlook操作」を参照ください。</p>
ライブラリ	Windows Server 環境において複数ユーザが同時にExcelを利用している場合、「Excel操作（全て閉じる）」ノードを実行するとシナリオが終了しない場合がある。	複数ユーザが同時に Excel を使用している場合でも、「Excel操作（全て閉じる）」ノードが正しく動作するようにしました。
ログ機能	ログ分割を指定し、999個のログファイルが存在している状態で WinActor の起動を行うと失敗する。	WinActorを起動した後に、ログファイルに関するエラーとなる様にしました。